平成23年３月期　第１四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成22年８月10日

上場会社名	関西ペイント株式会社		上場取引所　東・大
コード番号	4613		ＵＲＬ　http://www.kansai.co.jp/
代表者	（役職名）代表取締役社長	（氏名）河盛　裕三	
問合せ先責任者	（役職名）専務取締役	（氏名）今田　公一	（ＴＥＬ）　06-6203-5531
四半期報告書提出予定日	平成22年８月11日		配当支払開始予定日　－

四半期決算補足説明資料作成の有無：無
四半期決算説明会開催の有無　　：無

（百万円未満切捨て）

１．平成23年３月期第１四半期の連結業績（平成22年４月１日～平成22年６月30日）

（１）連結経営成績（累計）　　（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年３月期第１四半期	59,484	20.3	5,519	113.4	6,577	104.6	3,284	148.1
22年３月期第１四半期	49,434	△24.1	2,585	△49.9	3,215	△46.9	1,323	△57.5

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円　銭	円　銭
23年３月期第１四半期	12　37	－
22年３月期第１四半期	4　99	－

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	１株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円　銭
23年３月期第１四半期	262,526	178,829	60.6	598　99
22年３月期	270,373	181,036	59.6	607　24

（参考）自己資本　　23年３月期第１四半期　159,036百万円　22年３月期　161,230百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円　銭	円　銭	円　銭	円　銭	円　銭
22年３月期	－	5　00	－	5　00	10　00
23年３月期	－				
23年３月期（予想）		5　00	－	5　00	10　00

（注）当四半期における配当予想の修正有無：無

３．平成23年３月期の連結業績予想（平成22年４月１日～平成23年３月31日）

（％表示は、通期は対前期、第２四半期（累計）は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円　銭
第２四半期（累計）	119,000	14.7	10,500	30.4	11,500	29.3	6,000	39.4	22　60
通期	240,000	7.9	22,000	7.3	24,500	8.4	13,100	10.7	49　34

（注）当四半期における業績予想の修正有無：無

４．その他（詳細は、［添付資料］Ｐ．３「その他の情報」をご覧ください。）

（１）当四半期中における重要な子会社の異動　：無

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

（２）簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用：有

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

（３）会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更：有

② ①以外の変更　：無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

（４）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	23年３月期１Ｑ	272,623,270株	22年３月期	272,623,270株
② 期末自己株式数	23年３月期１Ｑ	7,115,400株	22年３月期	7,110,603株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	23年３月期１Ｑ	265,508,967株	22年３月期１Ｑ	265,552,453株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続を実施しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、潜在的なリスクや不確定な要素が含まれているため、実際の業績が予想数値と異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、四半期決算短信（添付資料）２ページ「（３）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期の連結業績等に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 2
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 2
２．その他の情報 …… 3
（１）重要な子会社の異動の概要 …… 3
（２）簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 …… 3
（３）会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 …… 3
（４）継続企業の前提に関する重要事象等の概要 …… 3
３．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書 …… 6
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 7
（４）継続企業の前提に関する注記 …… 9
（５）セグメント情報 …… 9
（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 10

１．当四半期の連結業績等に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第１四半期における世界経済は、各国での景気刺激策の効果もあり、特にインド、中国を中心とするアジア地域では回復基調で推移する一方、欧州では、財政・金融システムへの不安の高まりなどにより、景気回復の停滞が懸念される状況となりました。わが国においては、雇用情勢は依然として厳しいものの、景気は持ち直しの状況が続きました。

当社グループの当第１四半期の連結業績につきましては、国内においては、自動車塗料分野をはじめとして、売上は前年同期実績を上回りました。海外においては、インドやその他アジア地域及び欧州において、需要回復により売上が伸長いたしました。また、引き続きトータルコスト低減に向けた取組みなどにより、収益確保につとめました。

これらの結果、当社グループの当第１四半期における売上高は594億84百万円（前年同期比20.3％増）、営業利益は55億19百万円（前年同期比113.4％増）、経常利益は65億77百万円（前年同期比104.6％増）、四半期純利益は32億84百万円（前年同期比148.1％増）となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

当第１四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ51億53百万円減少し、353億94百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第１四半期連結会計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益65億95百万円、減価償却費17億30百万円などの収入に対し、売上債権の増加6億58百万円、たな卸資産の増加7億50百万円、仕入債務の減少8億12百万円及び法人税等の支払額42億30百万円などの支出により、前年同期比4億98百万円減少の△12億40百万円となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第１四半期連結会計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得13億72百万円、投資有価証券の取得129億93百万円などの支出に対し、投資有価証券の売却138億44百万円などの収入により、前年同期比3億58百万円減少の△24億35百万円となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第１四半期連結会計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払額13億32百万円などにより、前年同期比3億93百万円減少の△19億57百万円となりました。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

現時点では、平成22年５月14日発表の平成23年３月期第２四半期連結累計期間及び通期業績予想を変更しておりません。

２．その他の情報

（１）重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

（２）簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

①棚卸資産の評価方法

当第１四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を一部省略し前連結会計年度に係る実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定しております。

②固定資産の減価償却費の算定方法

固定資産の年度中の取得、売却及び除却等の見積りを考慮した予算を策定しているため、当該予算に基づく年間償却予定額を期間按分して算定しております。

③税金費用の計算

税金費用については、当第１四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

（３）会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

①資産除去債務に関する会計基準の適用

当第１四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号　平成20年３月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号　平成20年３月31日）を適用しております。

これによる、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

②企業結合に関する会計基準等の適用

当第１四半期連結会計期間より、「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号　平成20年12月26日）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号　平成20年12月26日）、「「研究開発費等に係る会計基準」の一部改正」（企業会計基準第23号　平成20年12月26日）、「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第７号　平成20年12月26日）、「持分法に関する会計基準」（企業会計基準第16号　平成20年12月26日公表分）及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第10号　平成20年12月26日）を適用しております。

（４）継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

３．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	当第１四半期連結会計期間末 （平成22年６月30日）	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 （平成22年３月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	37,845	41,183
受取手形及び売掛金	71,519	70,162
商品及び製品	13,876	13,757
仕掛品	2,856	3,064
原材料及び貯蔵品	7,612	6,815
その他	7,655	6,102
貸倒引当金	△968	△1,071
流動資産合計	140,399	140,013
固定資産		
有形固定資産	58,617	58,427
無形固定資産	2,506	2,379
投資その他の資産		
投資有価証券	48,850	56,254
その他	12,576	13,736
貸倒引当金	△424	△438
投資その他の資産合計	61,003	69,552
固定資産合計	122,127	130,359
資産合計	262,526	270,373

（単位：百万円）

	当第１四半期連結会計期間末 （平成22年６月30日）	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 （平成22年３月31日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	49,935	50,041
短期借入金	1,220	1,321
1年内返済予定の長期借入金	555	590
未払法人税等	2,550	4,605
賞与引当金	1,959	3,426
その他	11,296	10,449
流動負債合計	67,518	70,435
固定負債		
長期借入金	666	811
退職給付引当金	6,150	6,089
その他	9,361	12,000
固定負債合計	16,178	18,901
負債合計	83,696	89,337
純資産の部		
株主資本		
資本金	25,658	25,658
資本剰余金	27,154	27,154
利益剰余金	109,957	108,004
自己株式	△5,707	△5,704
株主資本合計	157,062	155,113
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	9,418	13,091
為替換算調整勘定	△7,444	△6,975
評価・換算差額等合計	1,974	6,116
少数株主持分	19,792	19,805
純資産合計	178,829	181,036
負債純資産合計	262,526	270,373

（２）四半期連結損益計算書
（第１四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成21年４月１日 至　平成21年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年６月30日）
売上高	49,434	59,484
売上原価	35,492	42,139
売上総利益	13,941	17,345
販売費及び一般管理費	11,355	11,826
営業利益	2,585	5,519
営業外収益		
受取利息	56	44
受取配当金	420	401
持分法による投資利益	－	464
雑収入	415	353
営業外収益合計	892	1,263
営業外費用		
支払利息	22	37
たな卸資産廃棄損	－	41
支払補償費	63	－
持分法による投資損失	62	－
雑支出	114	125
営業外費用合計	262	205
経常利益	3,215	6,577
特別利益		
貸倒引当金戻入額	－	94
固定資産売却益	73	6
投資有価証券売却益	9	－
特別利益合計	83	100
特別損失		
固定資産除却損	27	49
投資有価証券評価損	－	33
特別損失合計	27	82
税金等調整前四半期純利益	3,271	6,595
法人税等	1,395	2,316
少数株主損益調整前四半期純利益	－	4,278
少数株主利益	552	994
四半期純利益	1,323	3,284

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成21年４月１日 至　平成21年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年６月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,271	6,595
減価償却費	1,711	1,730
のれん償却額	8	20
退職給付引当金の増減額（△は減少）	△126	36
貸倒引当金の増減額（△は減少）	16	△92
受取利息及び受取配当金	△476	△445
支払利息	22	37
持分法による投資損益（△は益）	62	△464
投資有価証券評価損益（△は益）	－	33
固定資産除売却損益（△は益）	△46	43
売上債権の増減額（△は増加）	1,101	△658
たな卸資産の増減額（△は増加）	△898	△750
仕入債務の増減額（△は減少）	△4,136	△812
その他	△849	△2,723
小計	△341	2,550
利息及び配当金の受取額	582	474
利息の支払額	△19	△35
法人税等の支払額	△964	△4,230
営業活動によるキャッシュ・フロー	△742	△1,240
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	△3,149	△5,162
有価証券の売却による収入	3,149	5,162
有形固定資産の取得による支出	△1,586	△1,372
有形固定資産の売却による収入	91	15
無形固定資産の取得による支出	△22	△179
投資有価証券の取得による支出	△8,647	△12,993
投資有価証券の売却による収入	8,497	13,844
貸付けによる支出	△533	△333
貸付金の回収による収入	444	334
その他	△321	△1,749
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,077	△2,435

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成21年４月１日 至　平成21年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年６月30日）
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	333	764
短期借入金の返済による支出	△378	△785
長期借入れによる収入	100	―
長期借入金の返済による支出	△170	△177
自己株式の取得による支出	△7	△3
自己株式の売却による収入	0	―
配当金の支払額	△1,065	△1,332
少数株主への配当金の支払額	△375	△424
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,564	△1,957
現金及び現金同等物に係る換算差額	368	211
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△4,015	△5,422
現金及び現金同等物の期首残高	31,422	40,548
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	―	269
合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	39	―
現金及び現金同等物の四半期末残高	27,446	35,394

（４）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（５）セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

前第１四半期連結累計期間（自　平成21年４月１日　至　平成21年６月30日）

事業の種類として「塗料事業」及び「その他事業」に区分しておりますが、当第１四半期連結累計期間については、全セグメントの売上高及び営業利益の合計額に占める「塗料事業」の割合がいずれも90％を超えているため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

〔所在地別セグメント情報〕

前第１四半期連結累計期間（自　平成21年４月１日　至　平成21年６月30日）

	日本	アジア	アメリカ	欧州	計	消去又は全社	連結
売上高（百万円）							
(1) 外部顧客に対する売上高	33,205	14,734	121	1,372	49,434	－	49,434
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	2,365	50	－	9	2,424	△2,424	－
計	35,570	14,785	121	1,381	51,859	△2,424	49,434
営業利益（百万円）	999	1,437	4	155	2,596	△10	2,585

（注）１．国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

２．各区分に属する主な国又は地域

アジア……インド、タイ、中国、台湾等　　アメリカ……米国　　欧州……トルコ、英国

〔海外売上高〕

前第１四半期連結累計期間（自　平成21年４月１日　至　平成21年６月30日）

	アジア	アメリカ	欧州	計
Ⅰ　海外売上高（百万円）	16,348	488	1,543	18,379
Ⅱ　連結売上高（百万円）	－	－	－	49,434
Ⅲ　連結売上高に占める海外売上高の割合(％)	33.1	1.0	3.1	37.2

（注）１．国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

２．各区分に属する主な国又は地域

アジア……インド、タイ、中国、台湾等　　アメリカ……米国等　　欧州……トルコ、英国等

３．海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

〔セグメント情報〕

１．報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、主に塗料の製造・販売を行っており、国内においては主として当社が、海外においては現地法人がそれぞれ担当しております。現地法人はそれぞれ独立した経営単位であり、各地域の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

従って、当社は、生産・販売体制を基礎とした地域別セグメントから構成されており、「日本」、「インド」、「アジア」及び「欧州」の４つを報告セグメントとしております。

２．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第１四半期連結累計期間（自　平成22年４月１日　至　平成22年６月30日）

	報告セグメント					その他（注１）	合計	調整額（注２）	四半期連結損益計算書計上額（注３）
	日本	インド	アジア	欧州	計				
売上高（百万円）									
(1) 外部顧客への売上高	36,364	10,129	10,642	2,205	59,342	142	59,484	－	59,484
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	3,204	4	52	5	3,267	－	3,267	△3,267	－
計	39,569	10,134	10,695	2,210	62,609	142	62,751	△3,267	59,484
セグメント利益（百万円）	3,105	1,428	1,797	141	6,474	102	6,576	1	6,577

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、米国等の現地法人の事業活動を含んでおります。

２．セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

３．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

４．日本、インド以外の各セグメントに属する主な国又は地域

アジア……タイ、中国、マレーシア等

欧州……トルコ、英国等

（追加情報）

当第１四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号　平成21年３月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号　平成20年３月21日）を適用しております。

（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。